

会議録

会議の名称	令和4年度第3回 西東京市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	令和5年2月8日 午後2時から午後3時35分まで
開催場所	エコプラザ西東京 講座室1・2
出席者	【委員】 山谷委員、植村委員、福田委員、小早川委員、平山委員、澤野委員、飯塚委員、一方井委員、根本委員、河上委員、渡部委員、田中委員、岩崎委員、島田委員（欠席委員）鈴木委員 【事務局】 白井部長、菱川課長、河合課長補佐、加藤ごみ減量係長
議題	(1) 西東京市廃棄物処理の近況について (2) ごみの減量と資源化について (3) その他
会議資料の名称	資料 西東京市の取組状況
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>(発言内容等)</p> <p>1 会長から開会の挨拶</p> <p>2 議題</p> <p>(1) 西東京市廃棄物処理の近況について</p> <p>(2) ごみの減量と資源化について</p> <p>(3) その他</p>	

(委員からの主な意見等)

議題 (1) 西東京市廃棄物処理の近況について

委員：フードドライブについて、数年前にどこかに政府米が援助されたことを記憶していますが、フードドライブに寄付されていますか。

事務局：そういった寄付の話は聞いていません。

会長：国の備蓄米を活用したということですね。

委員：それが幅広く、全国に行き渡っているものと思っていました。

事務局：市や社会福祉法人連絡会が実施しているものは、ごみの減量・食品ロスの削減を目的としており、家庭で残ってしまったものを寄付していただいています。
新型コロナウイルス感染世帯への都や市が配送した食料支援が残ってしまい、それを寄付されるケースが増えています。市主催の場合、市の備蓄品を寄付したことはあります。

委員：西東京環境チャレンジについて、参加された年齢層は分かりますか。

事務局：100件の応募がありましたが、世帯単位での応募となります。来年度も実施予定ですが、申し込みをしやすいように個人での申し込みにし、アプリを活用する方向で検討しています。

会長：アプリを使うと若い方が応募してきます。

委員：ダンボールの排出量が増えているのではないかと思います。傾向を教えてください。

委員：東京都の資源回収の活動をやっていますが、都内で新聞は毎年2割減少、雑誌・雑紙は1割減少、ダンボールは1、2%程度の若干の増加という傾向で、ここ数年は同じ状況です。

会長：減少の度合いが高まっている中で、総資源化率を上げていくのは大変なことです。西東京市は、1人1日当たりのごみ排出量でも人口10万人以上の市町村で、ここ数年ベスト10以内に入っています。また、資源化率でも10位以内に入っています。ごみの減量と資源化では、先進的な都市と言えます。

委員：西東京環境チャレンジがまた行われるという話がありましたが、今後、他にごみに関して予定はありますか。

事務局：現在計画中で市の主催ではありませんが、MUFGパークが新町にあり、開放されることになり、オープニングイベントとして様々なものが予定されています。3月21日にプロギングという競技が予定されていますが、プロギングは、ジョギングをしながらごみ拾いを行う競技で、イベントの詳細はこれから決定されます。そこで、当市のごみの状況や取組を説明する予定ですので、内容は市報等でご覧ください。

委員：介護の仕事をしていて、最近、出したごみが収集されずに近所とトラブルになり、地域包括支援センターに相談が入り、介護申請につながるということが起きています。今年になって数件続いていたため、ふれあい収集を利用する方が増えているのではないかと思います。

事務局：ふれあい収集の申請件数は増えています。令和元年10月の資源物戸別収集開始時に合わせて要介護2以上の要件を要介護1以上に緩和したことも影響しているかもしれません。

委員：申請は、ケアマネジャーが行うのですか。

事務局：ほとんどがケアマネジャーによる申請で、本来は申請後に訪問調査を行いますが、新型コロナウイルスの感染防止を目的として、申請時に状況を把握して決定しています。現在490件ほど収集しています。

会長：ふれあい収集は、容器に入れてごみを出していないのですか。

事務局：市で縦型または横型のボックスをお貸しして、それに入れたごみを収集しています。

会長：そのように対応していれば、排出方法が悪くて収集されないということはないはずです。

事務局：認知症などにより正しいルールどおり出せなくなり、ケアマネジャーが把握してふれあい収集の申請につながるようになります。

議題（2）ごみの減量と資源化について

現委員の任期中最後の会議となるため、委員活動をしての感想や各自のごみ減量と資源化の取組・心構えなどを伺う。

議題（3）その他

事務局：令和5年7月からの審議体制については、今後、市民公募や各団体等への就任依頼の手続きを行い決定する。全委員が決まった時点で会議日程を調整する。